

2019年度 事業報告書

事業名

盲導犬事業 公1
社会適応推進事業 公2
管 理 部 門 法人会計

自：2019年 4月 1日

至：2020年 3月31日

公益財団法人北海道盲導犬協会

札幌市南区南30条西8丁目1番1号

盲導犬事業 公益目的事業 1

(2019年4月1日 ~ 2020年3月31日)

盲導犬の育成・貸与事業

1. 盲導犬訓練・貸与に関すること

1) 盲導犬貸与目標11頭に対して9頭を貸与した。

・ 貸与地域：道内6頭、新潟県2頭、山梨県1頭

・ 盲導犬実働数（年度末時点）：79頭

2) 2019年度の訓練犬25頭に対して訓練を行い、16頭が盲導犬の作業における訓練基準認定目標を達成した。その中から、健康面や日常生活面等の問題の状況を踏まえて、2020年度盲導犬申込者にマッチングする。

3) 盲導犬ユーザーのサポート体制を安心・安全の観点から強化するため、次の事項に取り組んだ。

・ 盲導犬ユーザー及び盲導犬の急病による盲導犬預かりに掛かる交通費を当協会が負担することとし、ユーザーの不安や負担を軽減した。

今年度適用数9件 軽減総額454,961円

・ 盲導犬のハーネス（胴輪）の耐久性と盲導犬啓発効果の向上を目的として、ハーネス改良を行った。改良途中であるため2020年度に継続して実施する。

2. 繁殖に関すること

1) 出産頭数は60～75頭（出産件数15腹前後）の計画に対して61頭であった。

出産件数	出産頭数	委託頭数	譲渡頭数	譲受頭数
14腹	61頭	55頭	8頭	2頭

・ 出産頭数は死産や出産後死亡犬を除く

・ $61(\text{出産}) - 8(\text{他施設譲渡}) + 2(\text{他施設譲受}) = 55(\text{委託})$

- ・他施設への譲渡は、子返しや繁殖協力のため実施したものである。
- 2) 繁殖犬として新たにラブラドル6頭(オス2、メス4)、ゴールデン2頭(オス1、メス1)を確保して、繁殖犬の質の維持・向上に努めた。
 - ・現繁殖犬数 オス 15頭 メス 34頭 ・引退繁殖犬 オス2頭 メス29頭
 - 3) アジアガイドドッグスブリーディングネットワーク(略称：AGBN)内で取り組む育種価の研究事業に積極的に協力した。
 - ・育種価を算出するためにパピー犬55頭に対してAGBN指定のテストを実施した。
 - 4) 国際盲導犬連盟(略称：IGDF)基準に適合するよう、委託中のパピー犬、盲導犬、繁殖犬にマイクロチップの装着を実施した。
 - ・全頭にマイクロチップの装着を実施するという目標に対して、達成率約8割。残り約40頭(盲導犬30、パピー犬10)は2020年上半期に装着を進める。
 - 5) 繁殖犬飼育委託ボランティアに向けた繁殖犬説明会を実施して、年間繁殖計画および、繁殖犬飼育委託体制についての理解促進を図った。
 - 6) 繁殖実務担当者の養成を目指して1名を採用内定した。(採用2020年4月1日)

3. パピーウォーキングに関すること

- 1) 2020年度訓練犬・繁殖犬適性評価対象となる子犬を、計画50～55頭に対して55頭委託した。
 - ・2-(1)実務実績の表による。
- 2) パピーウォーカーを対象とした飼育講習会、家庭訪問を実施した。
 - ・委託期間中に講習会を6～7回、家庭訪問を約4～5回実施して、パピーの育成指導に当たるよう計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講習会は4～5回、家庭訪問は2～3回の実施に留まった。

4 . ケネル・老犬ホームに関すること

1) 犬舎・老犬ホーム・老犬飼育委託家庭での犬の生活環境を充実させるため次の事項に取り組んだ。

委託家庭を確保するための必要な募集活動を行う。

- ・一時、募集活動が必要な件数にまで登録者が減少したものの、委託家庭を取り上げた新聞記事により申し込み数が増加し、必要数を確保できた。

定期訪問を行い、高齢犬の飼育環境を整えるアドバイスを行う。

- ・新規委託犬、また病犬などの訪問を行い、必要な介護用具（アシスタントバンド・高反発マット・肘当て・車椅子他）を貸し出した。

キャンペーン犬の飼育環境を充実させると共に、キャンペーン活動に役立つ対応を行う。

- ・新規キャンペーン犬の取り扱い講習会を実施した。

犬舎作業ボランティアを充実させ、清潔な犬舎環境を保つ。

- ・9名のボランティアが活動していたが、2月末より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止とした。

2) 担当者の養成、職務分掌の見直しを行う。

職員の育成

- ・ボランティア対応と関係書類整備、また札幌市動物管理センターへの提出書類作成事務を習得させた。
- ・ワクチン関係の業務を全作業依頼し、業務の担当割を図った。
- ・犬の病気に関するレポートをまとめさせ、担当内発表を実施した。

5 . 研修に関すること

1) 外部研修等に積極的に参加させて情報共有を図った。

視覚障害生活訓練等指導者養成課程の受講

- ・盲導犬歩行指導員1名が「日本ライトハウス視覚障害生活訓練等指導者養成課程1年基礎Ⅰ」を4月9日から受講し、10月4日に修了した。

視覚障害リハビリテーション基礎講習会の受講

- ・研修生1名が「日本ライトハウス視覚障害リハビリテーション基礎講習会」を8月27日～30日に受講した。
- ・札幌で行われた「第15回 視覚障害者教育歩行指導研究大会」に職員3名が参加した。

その他

- ・「札幌商工会議所主催説明力UPセミナー」（6月21日）に事務部職員1名が受講し、話す力と情報整理力を高める知識を学び、所内報告会にて情報共有を行った。
 - ・全国盲導犬施設連合会による盲導犬育成ジャパンセミナー、パピープログラム研修、窓口対応力向上研修に職員を受講させた。
- 2) 指導員の指導力レベルアップを図るため、ケース会議・ケース発表による事例研究の他、他施設の訓練見学・情報交換を積極的に行った。
- ・北海道日本ハムファイターズ元コーチ白井一幸氏を講師としたコーチングについての職員研修会(10月16日)を行い、「目標達成できる組織作り」を学び、目標設定と目標の共有、目標を達成するための関わり方を学んだ。
 - ・当協会元生活訓練生の安達朗子氏を講師に迎え、『視覚障害者が経験する晴眼者との支援の「ズレ」について』をテーマに視覚障害者の支援について事務部・指導部の職員が勉強した。

(安達朗子氏：市内大学 社会福祉学研究科 博士課程履修中)

6. 犬具飼料等の頒布に関すること

1) 一括仕入れにより標準価格の7割程度で犬具・飼料を頒布し、盲導犬ユーザー、飼育ボランティアの負担軽減に努めた。

・取扱数 飼料39件 犬具283件

2) 盲導犬ユーザー、視覚障がい者に歩行補助具・日常生活用具等を頒布し、日常生活を支援した。

・取扱数 用具63件

普及啓発事業

1. 盲導犬の普及啓発に関すること

1) 盲導犬宿泊体験セミナー及び盲導犬日帰り体験会を開催した。

・第1回 2019年10月26日(土)～27日(日)

会場：当協会 参加数：5名(札幌3名・恵庭1名・伊達1名)

・第2回 2019年11月2日(土)～3日(日)

会場：当協会 参加数：3名(札幌1名・埼玉1名・神奈川1名)

・盲導犬日帰り体験会 2019年10月21日(月)

会場：当協会、自宅周辺 参加者：1名(札幌1名)

宿泊体験セミナーから1名、日帰り体験会から1名盲導犬の申込みがあった。

2) 教育機関及び福祉事業者等が実施する盲導犬・視覚障害に関する講習会・セミナー・イベント等へ講師派遣協力を行った。

・教育機関/実績31件(幼稚園5・小学校18・中学校3・高校3・大学1・専門1)

・福祉事業者/実績7件(社協3・身障/視障協会4)

・自治体開催/実績9件(総合振興局別 石狩3・空知1・上川2・渡島1・峠1・釧路1)

3) 中学生以上を対象とした盲導犬啓発パンフレット作成に着手した。(2020

年度上期発行予定)

4) 北海道運輸局旭川支局と連携した旭川平和通り商店街及びフィール旭川店で実施予定だったバリアフリー教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

5) 関係団体、商業施設、企業等の協力を得て盲導犬啓発キャンペーン活動を実施した。

・新規活動場所としてランチ札幌月寒、イオン江別店、ソメスサドル(砂川)、白鳥王子アイスアリーナ(苫小牧)、北海道日本ハムファイターズ戦の地方球場(釧路・帯広・旭川)開催での啓発活動を含む122件のキャンペーン活動を実施し、盲導犬キャンペーン犬との触れ合いを通して情報発信を行った。

6) 協力者を対象として、第21回ガイドドックオープンデーを開催した。

・開催日時 2019年4月21日(日) 午前10時~午後3時

・開催案内状送付9,000通、ホームページによる広報の他、NHKニュース、HTBイチオシでの告知があり前回比2割の増客となった。

・来場者数:1,222名 ・ボランティア、職員数:121名

・STV、HTB、北海道新聞、さっぽろ10区、札幌経済新聞の取材を受けた。

・寄付募金等135,592円・グッズ頒布304,800円・バザー等217,732円

7) 個人を対象とした定例の見学会を実施するとともに、学校・団体からの依頼に対し見学会を行い、盲導犬と視覚障害への理解促進を図った。

・定例見学会は、4月と3月を除き、毎月1回開催した。

・定例(個人)見学会10回346名参加、団体見学29団体765名参加

・見学会におけるグッズ販売額136,200円

8) 盲導犬の普及啓発目的のオリジナル商品を製作・頒布して、盲導犬育成事

業に対する理解に繋げた。

- ・盲導犬キャンペーン活動時や協会来所者へ商品を頒布し普及啓発に努めた。

- ・頒布活動数　キャンペーン活動71回　当協会来所者への頒布238件

9) 広報誌「北の盲導犬だより　ミーナ」67号・68号を発行した。

- ・2019年7月17日　第67号　17000部発行

- ・2020年1月17日　第68号　17000部発行

- ・各号共に9300部を全国の支援者へ送付したほか、啓発活動時に配布した。

10) 当会WEBサイトに新着情報を24回掲載し、啓発活動の告知に努めた。またサイトリニューアルの検討を行った。

調査研究事業

1. 調査・研究に関すること

1) 帯広畜産大学との効率的育成技術の共同研究に取組み、受精卵移植技術の確立を目指して、6検体の受精卵サンプルを提供した。

2) A G B Nの盲導犬改良システムの構築研究事業に参画した。

- ・育成事業2 - (3) 参照

3) 産学と連携して進めてきた「老犬のストレスに関する調査研究」並びに「酵素フードの効果検証」は、一定の成果が得られたため終了した。

その他事業

1. 財源確保に関すること

1) 訪問等により協力者との接点を強化し、継続支援や協力者拡大につなげた。

- ・広報誌ミーナの発行に合わせて、協力者宅を盲導犬キャンペーン犬同伴で訪問し、感謝を伝え、継続支援を依頼した。個人協力者宅訪問78件

- ・ライオンズクラブ、ロータリークラブ寄付チャリティー活動21回、企業のチャリティー活動参加21回、団体・サークルのチャリティー活動参加23回出席した。

- ・寄付者数1,665人(社)、延べ寄付件数2,226件
- ・募金箱設置数6,618ヶ所、延べ募金箱入金件数4,434件
- ・サポート入金会員数1,833人(社)、延べ入金件数4,719件
- ・遺贈寄付者 5名 23,933千円 (札幌2・東京・神奈川・福岡)
- ・大口寄付者 4名 73,000千円 (東京・埼玉2・千葉)
- ・盲導犬応援型自動販売機 新規設置数24台 総設置数83台

2) 法人支援者を対象とした見学会を実施した。

- ・開催日 2019年9月26日(木) 13時~17時
- ・行事名 法人企業様限定「盲導犬体験セミナー」
- ・参加者 4社6名参加
- ・屋外での手引き、白杖、盲導犬の体験歩行を通じて当協会の事業に理解頂いた。

3) サポート会員に更新案内状の発送を行うと共に、近況・イベント情報等の発信を行い前年以上の継続率につなげた。

- ・盲導犬協会通信を4回発行
- ・更新会員1,433名(更新率88%)
- ・マンスリー会員263名(更新率96%)

4) サポート会員の新規会員目標は200名(社)とし、新規会員獲得の為、イベント参加等機会あるごとにパンフレットを配布し新規会員の開拓に努め、137名の新規申込みを受付けた。

- ・新規会員構成：マンスリー28名・Jr7名・子犬22名・老犬44名

盲導犬33名・法人盲導犬1社・法人老犬2社

5) 募金箱の新規設置目標を200ヵ所として、新しい設置先の開拓と営業に取り組み211ヵ所への新規設置を行った。

- ・新規設置数211ヵ所（道内161ヵ所・道外50ヵ所）
- ・引上げ数190ヵ所（閉店118ヵ所・依頼25ヵ所・郵便物不着等47ヵ所）
- ・総設置数6618ヵ所（道内6097ヵ所・道外521ヵ所）

6) 募金箱設置者に送金の依頼、設置状況の確認を行う等、募金箱の管理を適切に行った。

- ・札幌市内は訪問による募金回収、市外は文書による募金送金依頼を行った。

7) 街頭募金活動39日42ヵ所を計画し、36日48ヵ所での活動を実施した。活動により市民との触れ合いを通じて盲導犬への理解促進と協力者拡大を図った。

- ・実施回数36日48ヵ所（池内28、パルコ9、札幌ドーム5、他6）

雨天による中止2ヵ所、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月～3月に計画していた11ヵ所の実施を自粛した。

- ・池内平均募金額85,133円、パルコ平均募金額64,078円 / 実施時間2時間

札幌ドーム平均募金額273,380円 / 実施時間2時間45分

8) キャッシュレス決済の普及を見据えて、非現金決済の種類と方法、募金導入実績等の情報収集を行った。

2. 関連団体との協力連携に関すること

社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会、認定NPO法人全国盲導犬施設連合会、国際盲導犬連盟、北海道盲導犬ユーザーの会、その他各地域にある当協会盲導犬使用者の会との協力・連携を図り、社会環境整備に参画した。

- ・主な協力連携事業として、全国盲導犬施設連合会による補助犬同伴可ステッ

カーの普及、盲導犬苦情相談への対応、盲導犬受入れの調査、また全日本盲導犬使用者の会や北海道盲導犬ユーザーの会など当協会所属の盲導犬使用者の会の研修事業・啓発活動に協力して社会環境の向上に努めた。

社会適応推進事業 公益目的事業2

(2019年4月1日 ~ 2020年3月31日)

1. 生活訓練の実施に関すること

1) 短期入所指導は、計画10回開催・指導数15ケースに対して、8回開催・17ケースを実施した。新規受講者数は目標9名に対して新規3名(北海道1名、札幌市2名)、継続者14名(北海道12名、札幌市2名)となり、繰り返し受講を希望する方が多くなった。この他、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1開催2ケースの受け入れを中止した。

	訓練日程	訓練期間	受入人数				計
			札幌市内		道内		
			新規	継続	新規	継続	
上半期	1 3月25日~4月12日	3週間				2	2
	2 5月27日~6月21日	4週間			1	1	2
	3 7月1日~7月12日	2週間	1			1	2
	4 9月9日~9月27日	3週間				3	3
		小計	1	0	1	7	9
下半期	5 10月15日~10月25日	2週間		1		1	2
	6 10月28日~11月15日	3週間				2	2
	7 11月25日~12月13日	3週間		1		1	2
	8 1月13日~1月24日	2週間	1			1	2
		小計	1	2	0	5	8
		合計	2	2	1	12	17

2) 通所及び訪問による指導は、計画月5ケースのところ、月によっては6~7ケースの対応をすることがあった。

・訪問訓練の実施状況

前年度継続4ケース / 新規開始4ケース / 訓練終了5ケース /

次年度継続3ケース

・通所訓練は受講対象者がなく実施しなかった。

訪問による年間指導ケース数は、各受講者の訓練期間により変動するため、

同時に受け入れ可能な訓練者数（ケース数）を月単位で示している。

- 3) ケース会議は、全ての入所訓練で行い、入所生の訓練達成度の評価及び今後の訓練目標の計画を行った。また訪問訓練では4回開催し、各訓練生の訓練進捗状況及び今後の指導方針の確認を行った。

2. 視覚障害リハビリテーションの普及啓発に関すること

- 1) 視覚障がい者を対象とした相談セミナーを道内3ヵ所で開催した。

セミナー開催地	5/18 帯広	6/23 伊達	7/21 千歳
募集対象者	視覚障害 / 一般	視覚障害 / 一般	視覚障害 1～6 級 / 一般
参加数	50 名	25 名	69 名
うち視障者	10 名	8 名	23 名
生活訓練申込者	-名	-名	-名
盲導犬宿泊体験セミナー申込者	-名	1 名	-名
盲導犬申込者	-名	-名	-名

*対象者・・・地元の視覚障害者団体、一般は視覚障害者以外（家族、医療従事者、役所福祉課）

- ・5/18 帯広は、LVC 十勝との共同開催により、事前に開催ポスターを関係機関等へ直接配布することができ、沢山の方が参加された。
- ・6/23 伊達は、地元の視覚障害団体との共同開催により実施した。生活訓練入所体験談を当事者から聞くことにより、訓練内容、協会の雰囲気、仲間づくりなど表情も終始にこやかにお話をしてくれ、参加者から良い話だったと感想があった。
- ・7/21 千歳は、千歳市内にお住いの対象者 150 名にセミナー案内ができたことにより、地元の視覚障害者団体に所属していない参加者が多くいた。
- ・セミナー参加者の中から盲導犬宿泊体験セミナー1 名受付けた。

- 2) 道内各地域の視覚障がい者が求めている訓練・情報についてのニーズ調査を継続して行った。また道内の医療・福祉・教育機関・視覚障がい者団体等との連携により、盲導犬使用希望者、生活訓練受講希望者の顕在化に取り組んだ。

ロービジョンケア北海道、ロービジョンケア旭川、ロービジョンケア十勝に定期的に参加して情報提供と盲導犬と接する機会を設け、協会が行っている生活訓練及び盲導犬に関する啓発を行った。

- ・ロービジョンケア北海道 8 回（札幌）
- ・ロービジョンケア旭川 5 回（旭川）

ロービジョンケア十勝6回（帯広） ロービジョンケア東神楽1回（東神楽）
参加して情報提供を行った。

過去の生活訓練受講者に対して、盲導犬宿泊体験セミナー開催案内、情報
提供に関するアンケート調査を行い、再受講の機会とするための取り組み
を行った。

ロービジョン外来のある道内医療機関を中心に、訓練情報を提供した他、
院内スペースを利用した受診者向けの日常生活用具等展示会を企画提案し
た。

旭川医科大学病院眼科ロービジョン外来において日常生活用具等展示会
及び相談訓練を4回実施した。また同眼科主催の暗所視支援眼鏡体験会に
指導員を派遣協力するなど連携に努めた。

ロービジョン外来とは、手術や薬などの治療によっても眼鏡による矯正に
よっても解決しない見えにくさがあり、日常生活や仕事、学業などに困難を感
じる方を支援する特別の外来のこと。（参考：勤医協病院HP）

北海道眼科医会と「第17回教育・体験セミナー」を開催した。

- ・開催日 2019年5月11日（土）
- ・会場 ACU-A（アスティ45）
- ・参加者 93名

生活訓練受講生17名に対して受講後アンケートを実施した結果、訓練期間の
延長を望む声が半数あった。また訓練内容に関する質問では、1名の方から一
部科目で希望と違っていただけとの回答があり、今後の課題とした。その他、協会
の設備、職員の対応は、満足又は概ね満足との回答であった。

次のイベントに参加して、普及啓発に努めた。

- ・5/19「色変・ひまわりの会」総会に参加して、日常生活用具の展示・紹介、

盲導犬体験歩行を実施した結果、9名の参加と日常生活用具（音声血圧計、白杖）の購入希望を受付けた。

- ・ 5/26～28「全国盲人福祉大会札幌大会」（参加人数 全国各地の役員、会員等約300名）に出展して、盲導犬体験歩行を実施した。
- ・ 6/16「秋田県視覚障害者協会総会」（出席者50名）に出席して、希望者4名に盲導犬体験歩行を実施した。
- ・ 7/7「アイフェスタ旭川」（来場者160名）に参加して、盲導犬体験歩行の実施、生活訓練、飼育ボランティアについての説明を行った。
- ・ 10/27「札幌協ふれあいまつり2019」に参加して、盲導犬体験歩行を実施した。
- ・ 11/12「石狩市視覚障がい者協会瞳会」主催日常生活用具と電子機器の展示説明会に参加し、盲導犬体験歩行3名と日常生活用具の購入希望を受付けた。
- ・ 2/21「札幌市視聴覚障がい者情報センター」が開催する点字講習会の受講者6名に盲導犬体験歩行を実施した。

管理部門 < 法人会計 >

(2019年4月1日 ~ 2020年3月31日)

1 . 理事会・評議員会・三役会により、効果的に法人業務の意思決定等を行う。

1) 理事会の開催状況

- | | | | |
|---------|-------|------------------|--------|
| 第33回理事会 | 6月 6日 | 第35回理事会 | 11月26日 |
| 第34回理事会 | 6月26日 | 第36回理事会 (書面表決) | 3月 6日 |
- ・ 理事1名の辞任届 (3月10日付) を受理
 - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置による書面表決 1 回
 - ・ 3月31日現在 理事10名・監事2名

2) 評議員会の開催状況

- | | | | |
|----------|-------|-------------------|-------|
| 第21回評議員会 | 6月26日 | 第22回評議員会 (書面表決) | 3月18日 |
|----------|-------|-------------------|-------|
- ・ 評議員1名の辞任届 (4月25日付) を受理
 - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置による書面表決1回
 - ・ 3月31日現在 評議員10名

3) 三役会、経営会議の開催状況

- | | | | |
|---------|-------|----------|--------|
| 第1回経営会議 | 4月15日 | 第7回経営会議 | 10月29日 |
| 第2回経営会議 | 5月20日 | 第8回経営会議 | 11月26日 |
| 第3回経営会議 | 6月26日 | 第9回経営会議 | 12月24日 |
| 第4回経営会議 | 7月25日 | 第10回経営会議 | 1月31日 |
| 第5回経営会議 | 8月29日 | 第11回経営会議 | 2月12日 |
| 第6回経営会議 | 9月24日 | 第12回経営会議 | 3月26日 |

2 . 当協会創立50周年 (1970年11月設立) に向けた準備委員会を発足さ

せ、記念式典等の検討を進めた。

3 . 大規模災害に備えるため犬舎の給排水及び給電に関する基本設計を進めた。

4 . 人事異動

- ・ 指導部繁殖パピー担当職員 1 名の退職があった。
- ・ 東北ホワイエ事業の終了に伴い、東北ホワイエ清掃管理者1名とのパート契約（勤務月2日）を終了した。

5 . 施設に関すること

1) 施設所在地

北海道札幌市南区南30条西8丁目 1 - 1

2) 施設の状況（敷地面積や建物の状況）

敷地面積 3306m²

本棟（構造等）耐火造地上3階 床面積442.16m² 延べ面積1100.88m²

（主設備）事務室・食堂・厨房・入所生室5・生活訓練室2

相談室1・浴室男女・手入れ室・ホール

訓練棟（構造等）耐火造地上一部3階

床面積985.07m² 延べ面積1432.18m²

（主設備）指導員室・調理室・老犬ホーム・訓練犬室・治療室

犬の浴室・交配室・隔離室・研修室・ボランティア室

3) 職員の在籍状況

		常勤	パート	非常勤	備考
	所 長	1			
事務部	渉外・庶務	1			
	総務・普及	3			
	経 理	3	1		常勤1名は嘱託職員
指導部	生活訓練	2			白杖指導員1人、生活指導員1人
	繁殖・ハピ-	2	1	1	非常勤者は実働月4日、常勤1名は育休取得中
	盲導犬訓練	6	1		指導員4人、訓練士1人、研修生2人
	老犬ケネル	2	4	3	非常勤者は夜間宿直業務実働月10日
	施設管理	1			
		21	7	4	

4) 盲導犬歩行指導員等の資格保有状況

	男	女	備考
盲導犬歩行指導員	4	2	
盲導犬訓練士	1		
白杖歩行指導員	2	2	
生活訓練指導員	1	1	
	8	5	

訓練業務に直接従事していない者を含む。